

## 第1学年英語科学習指導案

日時 平成18年11月10日(金)5校時  
学級 1年B組(男子10名女子14名 計24名)  
場所 1年B組教室  
授業者 T1:奥 純子 T2:和田 智恵

1, 単元名 Unit 7 カナダの学校 (NEW HORIZON English Course 1)

2, 単元について

(1) 教材観

カナダの中学生ビルとテレビ会議による対話から、情報を得るのが中心となる単元である。「異文化理解」「情報教育」が意識された内容であり、Unit 6のグリーン先生の姉リサに続いて、生徒と同年齢の弟ビルがモニター画面上に生の声で登場する。外国の中学生と交流することは、中学校段階では英語の難しさが壁になるが、この段階では理解可能な英語を用いて、疑似体験をし、カナダの中学校事情を知る内容となっている。

扱われる文法事項としては、Part 1では、「Who...?と応答」、Part 2では、「What time...?と応答」、Part 3, 4での新出文型はないが、Part 3では「How many...?やHow long...?」、Part 4では「What ...?」など、いずれも疑問詞がふんだんに使用され、カナダでの中学校の様子を詳しくたずね、理解を深める場面になっている。

(2) 生徒観

英語学習に対しては興味・関心があり、普段から英語を使おうとする生徒も見られる。特に男子生徒が授業においても挙手、発言を行う。全員が挙手できる場面も取り入れると、徐々に挙手する生徒が増えるといった様子である。授業は全体的に集中して取り組んでおり、ペアによるreading活動も和気藹々で行い、ゲーム等も楽しく行えるクラスの雰囲気がある。時として、周りを気にして自分から積極的に活動に踏み出せない場面も見られがちで、今後も自主性、自立性を養っていくことが課題といえる。

また、英語学習がスタートして半年が過ぎ、学力に個人差がはっきりと出てきている。毎授業がTeam-Teaching指導なので、下位の生徒や上位の生徒への細やかな配慮を心がけ、より行き届いた個別指導をこれからも継続していきたい。

3, 単元の指導目標

【コミュニケーションへの意欲・関心・態度】

- ・積極的に言語活動に取り組もうとする。
- ・理解できないとき聞き返したり、内容が掴めなくても推測しながら読み進もうとする。  
(コミュニケーションの継続)

【表現の能力】

- ・話す内容を相手に正確に伝え、聞かれたことに対して適切に応答することができる。
- ・正確な音読、適切な音量で読むことができる。

【理解の能力】

- ・話された内容を正しく聞き取ることができる。
- ・書かれた内容を正しく読み取り、情報から大切な部分を読みとることができる。

【言語や文化の知識・理解】

- ・「Who...?」の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・「What time...?」の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・世界の時差を理解したり、また学校や社会における日常生活や風俗習慣などを理解している。

5, 本時について

(1) 指導計画 (Unit 7・・・8時間扱い)

- Part 1 ( P58~59 ) 「 Who...? と応答 」・・・ 2時間
- Part 2 ( P60~61 ) 「 What time...? と応答 」・・・ 2時間
- Part 3 ( P62 ) 「 How ~ ...? と応答 」・・・ 2時間
- Part 4 ( P63 ) 疑問詞の文型まとめ・・・ 2時間 ( 本時 1 / 2 )

(2) 指導にあたって

[平成18年度授業力ブラッシュアッププラン授業改善研修会(釜石地区)]の指導目標  
**「書くことの指導～動詞に着目して～」**

昨年度に引き継ぎ、「書くこと」の活動を重要視し、さらに動詞への着目で、英語学習のつまづきの一つである、動詞の使い方(動詞の位置、be動詞と一般動詞の区別、3単現のSの使用等)を克服させることを指導項目に加えた。

その中で、Yes/No questionで答える疑問文は理解し表現できるが、疑問詞を伴った文になると、応答の仕方、または疑問詞を使って質問文が作れない生徒も多いと思われた。今回、疑問詞が多く出てくる場面を利用して、動詞に着目しながら疑問文の作り方、応答の仕方を復習し、既習内容を整理しながら理解を深める学習を行いたい。

[これまでの指導]

Unit 1を扱う時から、文の形を人形 **主語** **述語(動詞)** **目的語** **場所** **時** にとらえて、語順指導をこれまで進めてきた。

「頭に入るのは主語」「胴体に入るのは述語(動詞)」というように、インパクトをつけて最初のうちに指導することで定着をはかり、後に習得する動詞もどこに入るのか確認したり、主語・述語に線を引かせながら、英語文型指導を行った。

また、一般動詞の導入の前に疑問詞の導入を行い、be動詞のみの扱いで、肯定文 疑問文 疑問詞文、とセットで指導し、その後、同じように一般動詞の導入を行い、be動詞と一般動詞を大別して理解できるように指導を試みた。指導後やはり理解の混乱は見られたので、1学期末にまとめのプリントで内容を整理した。

「英語学習は1年生の指導が今後の2年間を左右する。」と思い、Team-Teaching指導を生かし、下位の生徒への支援を中心にしながら、一人一人の理解を高めたいと考えている。

(3) 本時の目標

- 疑問詞を用いた質問文・応答文を理解できる。 <理解・「書くこと」>
- 疑問詞を用いた質問文で自己表現できる。 <表現・「書くこと」>

(4) 本時の評価規準

	評価場面	Aの状況例	Bの状況例	Cへの手だて(支援)
理解	疑問詞の質問文、 応答文の文型練習 穴埋め、並べ替え、 指示英作文	疑問詞文の文型を理解し、問題ができる。 にも取り組み、問題ができる。	疑問詞文の文型を理解し、問題を解くことができる。	・語順の確認。 ・意味や用法の理解を促す。
表現	疑問詞の質問文を 作文活動 また、その応答練習	既習した文を使いながら、自分の聞きたい英文が書ける。	既習した英文を使って、質問文が書ける。	・語順の確認。 ・発音、綴りの確認。

(5) 板書計画

Friday, November tenth, weather time

Today's Target 疑問詞のある文を使えるようになる。

What is that? What do you do after school?

does

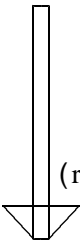
<語順の確認>  
 疑問詞の位置  
 be動詞と一般動詞の疑問文  
 応答の仕方

be動詞は 主語の前  
 do, does が 主語の前

(level 4の解答、班毎)

ジャッキーに質問

(6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	評価の観点	教材
導入 10分	1, あいさつ 2, Warm - up 暗唱 (speaking) 3, 学習課題の提示 (listening)	1, 元気にはつらつとする 2, ペアで重要文を暗唱する。 speed speaking (暗唱文の指示) speed writing へ < T1 T2、机間指導 > 3, Skit を聞かせ、what 文に着目 させる。 < T1: A, T2: B > what 文の違い (be 動詞文と一般動 詞文) に気づかせる。		ワー クシ ート
疑問詞のある文を使えるようになるう。				
展開 38分	4, 文型の説明  5, 文型の練習 < 理解 > (writing)  (reading) 6, 文型の練習 < 定着 > (writing) 7, 練習発表 (writing, speaking)	4, 語順の確認をする。 < T1 説明、T2 机間指導 > 気づき [ 疑問詞の位置 be 動詞と一般動詞の疑問文 応答の仕方  例文をいくつか出し、十分な口頭 練習を行う。 5, 疑問文や応答文の文型を練習する。 ( 解答時間 10 分 ) < T1 T2、机間指導 > 穴埋め問題 } 採点して回る 並べ替え問題 } ----- 指示英作文 small teacher  扱った英文を音読指導する。 6, 応答文を見て、対応する質問文を グループ活動で考え答える。 < T1T2、机間指導 > He is my friend. Who's he ? 7, 「ALT をもっと知ろう」の自分の 聞きたい質問を英訳し、発表する。 ( アンケート結果 参考 )  < T1 指示、T2 机間指導 >	【理解】疑問詞文・応答 文を理解できたか。 方法：プリント、机間指導  支援の手だて 語順を確認させ、意味や 用法を理解させる。  【表現】疑問詞文で自己 表現できたか。 方法：発表、プリント  支援の手だて 語順の確認、発音、綴り を確認させる。	板 書  ワー クシ ート  紙板書  ワー クシ ート
終 末 2 分	8, 家庭学習の提示 9, 自己評価 10, あいさつ	8, 家庭学習を連絡する。 9, 本時の学習内容を確認しながら 自己評価する。 10, はつらつと丁寧にあいさつをする。		

(7) 本時の評価

疑問詞を用いた質問文・応答文を理解できた。 < 理解 「書くこと」 >  
疑問詞を用いた質問文で自己表現できた。 < 表現 「書くこと」 >

# Hello, English !

No. 25

Grade 7 Class No Name

## 基本文をマスターしよう！

基本文の英文を暗記し、早く言えるよう、書けるように訓練しよう

U	P	English 英文	Japanese 和文
U1		I am Emi .	私は絵美です。
		You are Ms. Green . Are you Ms. Green ? Yes , I am.	あなたはグリーン先生です。 あなたはグリーン先生ですか。はい。
		Are you from America ? No , I am not .	あなたはアメリカ出身ですか。いいえ。
U2		This is my country . That is my country .	これは私の国です。 あれは私の国です。
		This is a school . Is this a school ? Yes , it is . / No , it is not . It is a hospital .	これは学校です。 これは学校ですか。 はい。 / いいえ。 (それは) 病院です。
		This is Mike . He is my friend . This is Ms. Green . She is our teacher .	こちらはマイクです。彼は私の友人です。 こちらはグリーン先生です。彼女は私達の先生です。
U3		I like music .	私は音楽が好きです。
		I play the piano . Do you play the piano ? Yes , I do . / No , I do not .	私はピアノを弾きます。 あなたはピアノを弾きますか。 はい。 / いいえ。
		I have a car . I do not have a car .	私は車を持っています。 私は車を持っていません。
U4		Is this a bird ? What is this ? It is a bird .	これは鳥ですか。 これは何ですか。(それは) 鳥です。
		English is interesting . English is not easy .	英語は面白いです。 英語は簡単ではないです。
		Do you have rice for breakfast ? What do you have for breakfast ? I have rice .	あなたは朝食にご飯を食べますか。 あなたは朝食に何を食べますか。 私はご飯を食べます。

自己評価してレベルアップを目指そう

# Hello, English !

No.2 6

Grade 7 Class No. Name

## 疑問詞のある文を使えるようになる

### 文型確認

それは何ですか。

**What** is that ?

**What** do you do after school ?

It's a racket .

I play table tennis after school .

疑問詞は文頭に。その後の疑問文、、 Be 動詞は主語の前に。 一般動詞は do を前に。  
応答文は、文の形で。 疑問詞で聞かれた事をしっかり答える。 does

### level 1 \*穴埋め問題

- ( ) これは何ですか。 犬です。  
( ) is this ? It ( ) a dog .  
( ) あなたの好きな食べ物は何ですか。 リンゴです。  
( ) ( ) your favorite food ? It is an apple.  
( ) あなたは何の教科が好きなの？ 私は理科が好き。  
What subject ( ) you like ? I ( ) science .  
( ) 彼女は誰ですか。 彼女は私の友達です。  
( ) is she ? She is my friend .  
( ) あなたは何枚 CD を持っていますか。 私は 10 枚持っています。  
( ) many CDs do you have ? I have ( ) CDs.

### level 2 \*並べかえ問題

あなたの好きな動物は何ですか。( your / is / what / animal / favorite / ? )  
猫です。( a / it's / cat / . )

彼は何を話しますか。( does / what / speak / he / ? )  
彼は中国語を話します。( Chinese / speaks / he / . )

今、何時ですか。( it / is / now / time / what / ? )  
8時ちょうどです。( eight / it's / o'clock / . )

### level 3 \*英作文問題

あなたは何のスポーツが好き？僕は野球が好きだよ。 \* baseball  
あなたの好きな音楽は何ですか。英語の歌です。 \* an English song

level 4 \*疑問文作成問題

グループで制限時間内に問題を解答しよう！

次の答えの文を見て、下線部をたずねる疑問文を考えよう。

- ( ) He is my teacher . \_\_\_\_\_
- ( ) I play baseball . \_\_\_\_\_
- ( ) She likes sushi . \_\_\_\_\_
- ( ) My favorite song is "She loves you" . \_\_\_\_\_

#### 4 単元名 Unit 7 カナダの学校

単元の目標	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
Unit7 カナダの学校  世界各地の時差について知る。  人について、だれであるか尋ねたり、それに答えたりすることができる。  現在の時刻や天気についてたずねたり、それに答えることができる。  What time ~ ?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。  学校生活についてたずねたり、それに答えたりすることができる。  カナダの国技であるラクロスやドリームキャッチャーについて知る。	<b>「聞くこと」</b> (言語活動への取り組み) * 聞かれたことについて理解し、的確に答えようとしている。  (コミュニケーションの継続) * 理解できないとき、説明を求めたり聞き返そうとしている。		(正確な聞き取り) * 聞いた内容について正しく内容を聞き取ることができる。  (適切な聞き取り) * 自然な口調で話されたり読まれたりする英語の内容を聞き取ることができる。	(言語についての知識) * 場面や状況に応じた表現を知っている。
	<b>「話すこと」</b> (言語活動への取り組み) * ペアワークなどにおいて必要に応じて協力し合っている。  (コミュニケーションの継続) * つなぎ言葉などを使って、不自然な沈黙をせずに話し続けている。	(正確な発話) * 話そうとすることを相手に正確に伝えることができる。  (適切な発話) * 聞かれたことに対して、適切に回答することができる。		(文化についての理解) * 日常生活や風俗習慣などを理解している。
	(言語活動への取り組み) * 読んでいる内容について、周りの情報などを利用して読み進めている。  (コミュニケーションの継続) * 理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	(正確な音読) * 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。  (適切な音読) * 適切な音量で読むことができる。	(正確な読み取り) * 書かれた内容について正しく読み取ることができる。  (適切な読み取り) * 書かれた情報について大切な部分を読み取ることができる。	(文化についての理解) * 学校や社会における日常生活や風俗習慣などを理解している。
	<b>「書くこと」</b> (言語活動への取り組み) * 必要に応じて辞書などを活用しながら積極的に書いている。  (コミュニケーションの継続) * 表現できないことがあっても、知っている語句や表現を用いて意欲的に書こうとしている。	(正確な筆記) * 書こうとすることを読み手に正確に伝えることができる。  (適切な筆記) * 内容を整理し、必要な分量を書くことができる。		(言語についての知識) * 場面や状況にふさわしい表現を知っている。